



# さくら茶号



第182号

発行日：平成31年3月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

(☎0952-29-2223)

## 診察室から ～ 顔面けいれん ～

院長：田口 明

顔の筋肉が不随意に（無意識に）動く病気があります。通常痛みはなく顔の片側に起こることが多いので、「片側顔面けいれん」と呼びます。典型的な症例は、目の周りの筋肉のぴくつきで始まり、徐々に同じ側の顔面全体に及びます。

会話をしたり食事をすることで誘発され、進行すると読書や運転などの生活動作に支障をきたすようになります。中年以降の女性に多く見られます。原因として最も多いのは、脳血管に加齢現象である動脈硬化が起こり、蛇行して顔面神経に接触し刺激が加わることです（前々回説明した三叉神経痛（顔の痛み）の原因と同様）。

神経への刺激が、血管の接触以外に腫瘍が発生して起こる場合もあります。治療の原則は開頭術を行い、神経と血管が接触している部分を遊離させたり、腫瘍を取り除いて神経への刺激を断つことです。過去10年間に当院でこの手術を4例経験しました。

けいれんは3例で完全に消失、1例は軽快しています。手術以外の方法にボツリヌス毒素を顔面の筋肉に注射し、筋弛緩を起こさせて止める方法があります。この方法は2000年から保険適用となっており、高率で症状改善が望めるようです。

対症療法なので症状が再び悪化した場合には再度注射をする必要がありますが自然寛解を誘導する可能性があり、今後さらに増えてくると思われます。



## 消防訓練 行いました

防火管理者 M・N



1月31日に今年度1回目の消防訓練を行いました。大変ご迷惑をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

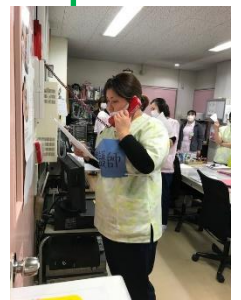
この時期、空気が乾燥し、火災が多く発生しております。火災は毎年3万件以上にのぼっています。原因は失火や放火、天災などがあり、6割は失火によるものです。火だねは身近にあり、ほんの小さな不注意からあつという間に大きな火災となります。

日々の業務の中にも環境を整えたり、点検を行ったりと、常に防火意識を高め、非常事態には一早く消防へ通報をし、患者様の命を守れる様訓練しています。



今回の消防訓練では、リーダー役を務め、実際に初期消火の指示・消防への通報・避難誘導の放送・声出し避難誘導を行いました。3回目のリーダー役ではありましたが、実際の通報では緊張してしまい戸惑ってしまいました。実際に火災が起きた時は入院患者様の状況、火災の状況、安全な避難経路などを瞬時に考え判断しなければ重大な被害が出ると思います。特に夜間、少人数で行うことを考えると、スタッフ1人1人が防火・消火に関する設備の把握、各スタッフの役割分担などのシュミレーション、火災場所に対する安全な経路の把握を普段から十分に行っておく必要性を痛感しました。

看護部 K・S



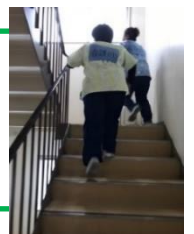
数年ぶりに避難訓練に参加させて頂きました。実際にサイレンが鳴るとドキッとしてしまいましたが、とっさの行動が出来る様に日頃から考えておかないといけないなあと改めて思いました。

終了後に患者様より“迫力あったね”という言葉頂き、よりよい訓練になったのかなと感じました。

看護部 M・A

今回の消防訓練では、警報が鳴ってからの火災場所の確認、初期消火避難誘導対応などを学びました。今回の訓練を活かし、安全に行動できるようにしていこうと思います。

看護部 T・S



# 給食室より

管理栄養士 A・F

2月に開催された第115回市民糖尿病教室に、糖尿病モデル食の献立作成・展示・指導というかたちで参加しました。

今回の題目「今日からできる食生活の改善」

## 講演内容

- ◆簡単な糖尿病・合併症についての説明
- ◆自分の食事の必要エネルギーの求め方
- ◆手のひらでの計量の目安



◇講演の様子◇



◇糖尿病モデル食の展示◇

モデル食は、1440kcal・1600kcal・1840kcalの食事を朝食・昼食・間食・夕食それぞれ作り展示しました。展示の際は、ご飯量、カロリー量での違い、味噌汁の味噌・具材量、昼のお弁当の残すご飯量も分かりやすいように表示しました。モデル食の献立は、家庭内にカロリーが違う糖尿病の家族がいても、一緒に調理できるようにと考えています。配布される献立表をみながら

モデル食をみて、違いの確認・質問等されていました。

市民糖尿病教室 3回/年 開催されています

- |     |   |                            |
|-----|---|----------------------------|
| 8月  | } | 糖尿病、合併症等についての講演            |
| 11月 |   | ※当日受付で無料の尿糖・血糖検査も実施されています。 |
| 2月  | } | ・糖尿病食の食事についての講演            |
|     |   | ・お弁当を食べながらの栄養士による食事指導      |

興味のある方はご参加ください♡

モデル食の献立表もあります。ご希望の方はスタッフまで。

## マスクの着用について

インフルエンザに代表されるウイルス性の感染症が流行しています。感染防止の手段の一つにマスク着用があげられます。当院では、外来受診をされる方・面会の方にマスクの着用を推奨しています。ご協力よろしくお願ひします。

### 着け方

point

鼻と口、あごまで  
きちんと覆う!



1 ノーズピース部分に  
折り目をつける



2 ゴムヒモを耳にかける



3 針金を顔の形に合わせる



4 蛇腹をあごの下まで  
伸ばし鼻と口を覆う





# 患者さまの声



## ★ 1月の患者様の声

### ① トイレ内に手提げ掛けがなく地面に置いた。

外来トイレのリフォームを予定してた所、このようなご意見を頂き、ありがとうございました。

ご不便をおかけして、申し訳ありませんでした。

今回のリフォームで、フック式の荷物掛けを付けましたので、ご利用下さい。

ビフォー



アフター

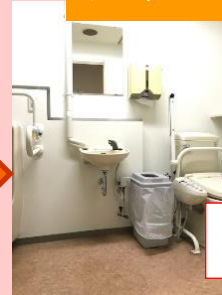


荷物掛け

ビフォー



アフター



・手すりをつけました。

・仕切りがなくなり、すっきりしました。

### ② 入口の傾斜を平面に出来ないか。脳梗塞で平均感覚が乏しく、怖かった。

ご意見本当にありがとうございます。段差のある入口をスロープに変えましたが、やはりお困りとわかりました。

どうぞ、お困りの際は、玄関入口にありますインターフォンでお呼び下さい。

## ★ 2月の患者様の声

### ① テレビの音が小さすぎて聞こえない。

ご意見ありがとうございます。

具合の悪い方もいらっしゃいます。

その為に、音量をこれ以上に大きくする事は、控えております。

ご希望であれば、字幕をおつけしますのでお申し出ください。

今後もお気付きの事がありましたら、各フロアーに設置しています“質問メモ”に記入していただき、備え付けのボックスに入れていただくか、スタッフに直接渡し下さい。

患者様の貴重なご意見、お待ちしております。

